

## 目標達成計画

事業所名: グループホームゆうゆ

作成日: 平成 24年 3月 29日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	ホームとしての重度化や看取りに対する方針が明確になっていない。	ホームとして対応可能な範囲を話し合い、方針を明確に文書化し、入居契約時に丁寧な説明を行っていく。	・ご本人様、ご家族様、医師等の判断を踏まえ、医療機関や他施設への移転を支援する。 ・終末期に向けた他施設への申し込み状況を把握する。	3ヶ月
2	(7-2)	毎月のお便りの下欄に設けているご家族様からの返信用スペースが活用されていない。	返信用スペースが活用されることで、情報交換・情報の共有ができ、共に支えていく関係が築ける。	・返信用封筒を同封する。 ・返信欄にFAXやEメールでも対応できることを記す。	12ヶ月
3	10	カンファレンスや介護計画の説明への参加を得ることができていない状況である。	要介護認定更新時のアセスメントに合わせて面談日を設定し、本人本位の介護計画が作成できるようになる。	・面談日を設定し、前もってお知らせする。 ・参加されない場合の連携手段を検討する。	12ヶ月
4	11	病院受診に同行していただけるご家族様が少ない。	病院受診の同行により、健康状態を把握していただくことができ、急変時や重度化の際の家族判断等連携が図れるようになる。	・受診予約日や予定日を前もってお知らせする。 ・同行されない場合の連携手段を検討する。	12ヶ月
5	3	運営推進会議内において、多様な職種からの専門的な意見や助言等を得にくい状況がある。	改善課題を絞り込み、サービスの向上に必要な意見や助言が得られるようになる。	各専門的な立場、地域の協力者への参加を必要に応じて働きかけていく。 ・消防、警察、管理栄養士、学校関係者等	12ヶ月

6	13	<p>災害発生時のマニュアルを用意し、訓練も実施しているが、確実に行動できるための手順書やフローチャートが作成されていない。</p>	<p>いざという時に現場職員が確実に行動できる必要最低限の手順書やフローチャートを、日勤帯・夜勤帯別に作成し、災害時の備えが充実する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災担当係は消防署員と話し合いを行い、手順書やフローチャートを作成する。</li> <li>・手順書やフローチャートに沿った訓練を行う。</li> </ul>	3ヶ月
7	18	<p>日常的な外出支援において、事業所としての意識的・積極的な取り組みが十分に行われていない。</p>	<p>ご家族様の協力が得にくい場合でも、ご本人様の要望に沿った外出支援ができるようになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントによる個別支援の見直しと、計画作成を行う。</li> <li>・ご本人様の要望に沿える柔軟な支援体制を整える。(業務内容の見直しを含む)</li> </ul>	6ヶ月